

(参考)“40 Developmental Assets”の仮訳

## 青少年育成に役立つ40の要素

サーチ・インスティテュートは、健全育成のための次の基礎的要素を明らかにした。それらの基礎的要素は、健全で、思いやりがあり、そして責任感のある青少年を育成することに役立つ。

区分	基礎的要素の名前と定義	
外的 基礎 要素	支援	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 家族の支え—家庭生活は、深い愛情と強力な支えを提供する。</li> <li>2. 家庭内の前向きな意思疎通—青少年とその家族が活発に会話を交わし、青少年が進んで親から助言を受けたり知恵を借りたりしようとする。</li> <li>3. 他の大人との関係—青少年が3人以上の親以外の大人からの支援を受ける。</li> <li>4. 思いやりのある隣人—青少年が隣人の思いやりを経験する。</li> <li>5. 思いやりのある学校環境—学校が思いやりと励ましのある雰囲気を提供する。</li> <li>6. 学校への親の関与—学校で上手にやれるように、親が積極的に青少年に関わる。</li> </ol>
	尊重	<ol style="list-style-type: none"> <li>7. 地域が青少年を大切にする—地域の大人が自分たちのことを大切に考えていることを青少年に分からせる。</li> <li>8. 青少年の役割—青少年が地域に役立つ役割を与えられる。</li> <li>9. 他人の役に立つ—青少年が1週間に1時間以上は地域に奉仕する。</li> <li>10. 安全—青少年が、家庭、学校及び近隣で安全だと感じる。</li> </ol>
	役割及び期待	<ol style="list-style-type: none"> <li>11. 家族の役割—家庭でルールとその結果がはっきりとしており、家族が青少年の所在を把握している</li> <li>12. 学校の役割—学校は、明確なルールと結果を示す。</li> <li>13. 近隣の役割—近隣の人が青少年の行為に目を光らせる責任を持つ。</li> <li>14. 大人の役割の模範—親やその他の大人が模範となる前向きで責任のある行動をする。</li> <li>15. 前向きな仲間の影響—青少年の親友が責任ある行動の模範となる。</li> <li>16. 大きな期待—親と教師がともに、青少年が上手にやれるように励ます。</li> </ol>
	建設的な過ごし方	<ol style="list-style-type: none"> <li>17. 創造的な活動—青少年が1週間に3時間以上を音楽や演劇などの芸術の学習や練習に充てる。</li> <li>18. 青少年の活動—青少年が、1週間に3時間以上を、スポーツ、クラブ、学校や(又は学校と)地域の活動に充てる。</li> <li>19. 宗教との関わり—青少年が、1週間に1時間以上を宗教団体の活動に充てる。</li> <li>20. 家庭での過ごし方—青少年が、友人と一緒に“特に何かをするという目的もなく”外出するのは週に2度以下にする。</li> </ol>

内 的 基 礎 要 素	学習との 関わり	21. やり遂げる意欲－青少年が、学校で上手にやろうという意欲を持つ。
		22. 学校の取組－青少年が学習に積極的に取り組む。
		23. 家庭での勉強－青少年が土日以外には毎日、1時間以上は家庭で勉強する。
		24. 学校との結びつき－青少年が自分の学校を気にかける。
		25. 楽しむための読書－青少年が1週間に3時間以上は読書を楽しむ。
	前向きな 評価	26. 思いやり－青少年が他人を助けることに高い価値を置く。
		27. 平等と社会正義－青少年が平等を広め、飢餓と貧困をなくすことに高い価値を置く。
		28. 信念－青少年が信念に基づいて行動し、自分の信ずるところを護る。
		29. 誠実－青少年が“真実を述べるのが困難なときでも真実を述べる”。
		30. 責任－青少年が責任を自覚し、自分の責任は自分で持つ。
		31. 自制－青少年が性的にみだらになるべきではないこと、また酒類や他の薬物を使うべきではないことが重要だと信じる。
	社会的能力	32. 企画と意思決定－青少年が企画を進め、選択する方法を知っている。
		33. 対人関係の能力－青少年が、共感、感受性及び交友関係の技術を持っている。
		34. 文化的能力－青少年が異なる文化的、人種的及び倫理的背景を持つ人々に関する知識を持ち、それらの人々を受け入れる。
		35. 抵抗する技術－青少年が悪い同輩の圧力と危険な状況に抵抗することができる。
		36. 紛争の平和的解決－青少年が暴力に訴えることなく争いを解決しようとする。
	前向きな 主体性	37. 個人的な力－青少年が、“自らに起こったこと”をコントロールできると思う。
		38. 自尊心－青少年が高い自尊心をもっていると言える。
		39. 自己目標－青少年が“自分の人生には目的がある”と言える。
		40. 自分の将来についての前向きな期待－青少年が自分の将来について楽観的である。

この資料は教育用に非営利の使用に限り複製することが許される。

Copyright© 1997 by Search Institute, 700 S. Third Street, Suite 210, Minneapolis, MN 55415; 800-888-7828; www.search-institute.org.

注) この訳は、上記サーチ・インスティテュートのWEBサイトに掲載されている英文資料を、文部省スポーツ・青少年局健全育成担当参事官室がこのレポートの利用者の利便のための参考として日本語に訳したものである。